

言葉も、国境も、人種も越える、映像づくり。
学校では教わらないことを、子どもたちは学ぶ。

映像制作を通じたパナソニックの次世代教育支援プログラム、KWN。
これまで、世界で約18万人の子どもたちが、自分で考える力を育んできた。



プロが使う機材で、子どもたちの視点で。

30年前、アメリカで生まれたKWN (KID WITNESS NEWS)。以来パナソニックが機器を提供し、テレビや映画の現場さながらの映像制作が行われています。作品の企画から取材、撮影、編集まで、手がけるのはすべて子どもたち。コミュニケーション能力やチームワークを育みながら、一つの作品をつくっていきます。

生きた「学び」を通じて、未来へ羽ばたけ。

KWNの活動は世界に広がり、今ではさまざまな国の子どもたちが集い、交流を行うグローバルコンテストが開催されています。今年のグランプリはタイの高校生とタンザニアの孤児院の子どもたち。パナソニックはこれからも、よりよい未来の社会のために、子どもたちに自発的な「学び」の機会を提供していきます。

録音スタジオでのコメント収録風景

03

撮影：写真家 三井昌志
カメラ：LUMIX S1R

アジアを中心に、現地調達したバイクで
行き先を決めずに旅しながら、人々の
飾らない日常と笑顔を撮り続けている。



最新の映像技術に子どもたちは刺激を受けた



12の国と地域から18校の生徒が集まり、映像の現場に触れる



今年もプロが感心するレベルの作品がそろった



表彰式では多様な民族衣装が会場を彩った

持続可能な社会とくらしへ

パナソニックの教育支援プログラム